

《法定職員研修》9
感染症発生時の業務継続計画
理解度確認テスト

次の設問が正しければ○、間違っていれば×を回答欄に記入して下さい。

No	設問	回答欄
1	BCPとは緊急事態にどうぐうした場合において、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことを言う。	
2	緊急事態とは自然災害、テロ等社会的な影響が大きい大規模災害の他に、感染症の世界的流行も含まれる。	
3	災害対策との違いは一定の損害を想定した上で、損害を最小限に抑え、復旧・事業再開などの計画をあらかじめマニュアル化しておくということである。	
4	一般企業と同様に高齢者施設も、海外で発生した段階から準備を始める必要がある。	
5	マニュアルの作成は、感染局面と必要な対策ごとに表を作る。	
6	マニュアルは誰が、どんな時に、どんな対策を、具体的にどのように行うのかという項目を感染発生時のピーク時局面で作成する。	
7	国内感染者発生局面の情報収集では、誰がどのような情報を集めるのかを決め、URLを貼り付けておく。	
8	国内感染者発生局面の職員教育は感染症の基本知識を研修する、等決めておく。	
9	国内感染者発生局面においては、徹底した感染対策を実施し、平常時よりもワンランク上の対策をとる。	
10	地域感染者発生局面の物品調達については、まだ品薄の心配もない段階の為、必要以上のコストをかけないようにする。	
11	地域感染者発生局面の職員教育は具体的な消毒方法や衛星行動の確認等を行う。	
12	感染者発生局面の感染防止具体策として、ゾーニングのルールを決めておく。職員の出勤方法、消毒の方法や頻度、利用者の食事や入浴のルール等明記する。	
13	感染者発生局面の感染防止対策において、重篤化リスクの高い利用者に対する体調管理ルールを決めておく。	
14	感染者発生局面の職員対応については、基礎疾患がある職員及び妊産婦等の職員の把握を行う。	
15	各事業所で策定しているBCPの内容をよく理解し、シミュレーションを繰り返しながらか見直していくことが義務付けられている。	

年 月 日

所属・配属

氏名

《法定職員研修》9
 感染症発生時の業務継続計画
 理解度確認テスト

NO.	正解	解説
1	○	
2	○	
3	○	
4	×	一般企業の場合は海外で発生した段階から準備を始める必要がありますが、高齢者施設は国内発生から準備を始めます。
5	○	
6	×	国内感染者発生～終息までの局面ごとに作成します。
7	○	
8	○	
9	×	国内で感染者が発生しているが地域ではまだ発生していない段階です。この段階では過剰な対策をせず標準予防策を実施します。
10	×	既に地域で感染者が発生しているため物品は品薄になってきているはずです。最低ストック数を下回らないように、仕入れ業者も数か所確認しておきます。
11	○	
12	○	
13	○	
14	×	基礎疾患、妊産婦の職員への業務上の安全配慮について対応方法を明記し、業務上の配慮を行うケースや配慮内容について具体的に決めておきます。
15	○	